



平成 23 年 8 月 12 日
社長 大中勝博

平成 23 年 8 月 5 日の社長ブログは私見を述べてはおりますが、書かれている事実は客観情勢です。その「評価」は各人に委ねるとしても、私は国際情勢が緊迫していると思います。その証拠に中国が言う第一列島線（シーレーン）の確保に、同国は旧ソ連から買った空母を太平洋に試験就航をさせました。これでフィリピン、ベトナムとの海洋摩擦、パキスタン、インドの陣営摩擦がハッキリ出てきます。無論、日本では尖閣諸島で摩擦が起きます。

米国は財政赤字で先週まで緊迫し、米国国債のランクは引き下げられ世界同時株安になりました。英国では暴動です。EUはギリシャ財政破綻から始まり退潮しています。米国と EU の退潮は相対として中国の台頭を意味します。日本は今週 76 円という超円高になり国内雇用は今後減少し、中国や新興国に生産拠点が移ってゆくでしょう。日本では脱原発で製造業の電力が不足しますから、自分の首を絞める政策を民主党政権は実施している訳です。

国内外の政治・経済問題は当社の経営にはハッキリ言って、「直接には」関係ありません。皆さんも感覚的にお解りになるでしょう。しかし、当社がそのような社会情勢下でビジネスをしている以上、関係性としては直接に「影響」を大きく受けます。復興増税が実施されようとしていますが、実施すれば日本は必ず不況になり、当社のビジネスに「影響」がでます。ですから、マスコミが伝えない社会情勢を皆様に知って頂く為に何度も書いてあります。

この 1 ヶ月で社会情勢が変わったことをハッキリ理解しましたので、第 20 期の決算も急速、下記のように変更しました。当社は増税には応じません。増税に応じる位いなら皆様の手取りを増額したいです。感情としてはその通りですが、法治国家に住む当社も振舞わなければならぬ責務があるため、其の対応を決算上も行なったと理解して下さい。

【第 20 期決算報告】(平成 22 年 7 月 1 日～平成 23 年 6 月 30 日)

【損益計算書】

売 上 高	1 億 6 , 284 万円 (前期比 99.9%)
営業利益	578 万円
経常利益	526 万円
特別損失	1,968 万円 (法が許容する最大限の償却と除却を致しました)
当期損失	1,459 万円

【貸借対照表】

流動資産	1 億 1,877 万円
固定資産	1,521 万円 (資産合計： 1 億 3,398 万円)
流動負債	1,145 万円
固定負債	3,710 万円 (負債合計： 4,856 万円)
純 資 産	8,542 万円 (自己資本比率 63.8%)

皆様に近未来の厳しい経済情勢をお知らせしましたが、我々がそれで萎えてはだめです。一方で、当社のように自己資本比率が60%を超えるような超優良な会社は少ないです。皆様にも自信を持って頂きたいのです。それでも尚、当社の固有問題として今第21期にはV字回復をして、第20期に捨てた約2千万円を取り戻しましょう。

営業利益が前年よりかなり減少しているのは、その分を実態として人材投資（教育と採用活動）に振向かることによります。無駄な出費は致しておりませんので、当期以降に大きな効果が出てくることを楽しみにしております。

第20期は東日本大震災の経済影響を受けたにも係わらず、皆様に頑張って頂きましたので何とか前年並みの売上を確保できました。実際、この夏の節電で変則勤務を余儀なくされている人、円高でメーカーの海外売上不振により時短を続けざるを得ない人、様々であろうかと思いますが、今もなお皆様のご協力を頂いております。平成23年8月27日の定時株主総会で決算を確定するに当たり、皆様に心より感謝を申し上げます。

【第21期の施策】(再掲)

- | | |
|---------------------------------------|------|
| 売上目標を2億4,500万円とし、第18期並に回復させる。 | 【短期】 |
| 営業を強化し、一括受託売上で利益を補強する。 | 【短期】 |
| 余剰借入金を返済し、私募債で補強しながら「無借金経営」を目指す。【中期】 | |
| 主任会を組織し、人材登用と起業家の育成を図る。 | 【中期】 |
| E R P研究とオフショア開発に継続投資し、将来の事業に育てる。 【長期】 | |

【人事】

桐原恵美：平成23年8月10日を以って依願退職とします。

中村佳介：平成23年8月15日から19日までの4.5日間を出勤停止処分とします。

【情報処理試験】

平成23年春季情報処理試験の合格発表は明後日の15日ですから、8月25日の月次報告書にて各自その結果をご報告下さい。また、秋季情報処理試験の受験申し込み（郵送受付）は平成23年8月19日迄です。

【採用活動】

平成25年春季入社の採用活動を平成23年9月より開始いたします。今年一杯は当社のPR活動を中心に実施します。来年早々には大卒者の採用を開始し順次専門学校での採用試験を行なってゆきます。